

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	プロダクトデザインコース
職階	氏名
教授	鯨坂誠之

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和6年度担当科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザイン概論(2D)、ユニバーサルデザイン(3D)、生産機械実習(3D)、基礎研究(4C)、住環境設計演習(5C)、卒業研究(5C)、ユニバーサルデザイン(専攻科2年)、総合課題実習 <p>◆担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡は Teams を活用し、課題の提示・回収は Classroom を活用するなど DX ツールを使い分け学生にとって分かりやすい情報提示を行った。授業は全て動画で記録し、振り返り学習ができるようオンデマンドで提供した。 <p>◆特記すべき教育方法の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内インターンシップや総合課題学習において学外の企業やイベントと連携した取り組みとすることで実践力を強化している。設計製図において「ルーブリック評価」を取り入れるとともに「建築デザイン製図」(共著, 学芸出版社)を活用することで学生自身の学習意欲の促進を図っている。
研 究	<p>◆競争的資金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費:基盤研究(C), 代表・鯨坂誠之, 「発達障害の特性のある学生のための高専版実験実習支援プログラムの開発」, 2021.4~2025.3 <p>◆論文発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田忠裕, 早川潔, 鯨坂誠之, 稗田吉成:2023 年度アカデミック・ポートフォリオ 作成ワークショップ開催報告, 大阪公立大学工業高等専門学校研究紀要, 第 58 巻, 33-38, 2025.1 <p>◆国際会議発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Yuto ODA, Takehito NAKATSU, <u>Shigeyuki AJISAKA</u> et al. : A Study of Evaluation Method for Visual Saliency about "Shikake" by Gaze Guiding Attribute Classification Using Eye Tracking, Nagaoka University of Technology (NUT), 9th STI-Gigaku 2024, STI-3-12(Poster), 2024.11 <p>◆学術講演会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田隼, 鯨坂誠之:空間の慣れに影響する視覚的要因と環境適応の関係性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5287), 573-574, 2024.8 ・谷野圭亮, 北野健一, 土井智晴, 鯨坂誠之 他:ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップをハイブリッドで開催して, 日本高専学会年会講演会講演概要集, 第 30 回, B3-3, 2024.9 ・小田悠人, 鯨坂誠之, 上林恵太 他:アイトラッキングを用いた仕掛け認識度評価手法の検討, 仕掛学研究会研究発表, 第 15 回, SIG-TBC-015-05, 2025.2

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

<p>社会貢献</p>	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会：ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ, 2024 年, 北野健一(コーディネーター), 鯉坂誠之(スーパーバイザー) 他 ・地域連携：環境リーダー養成講座, 寝屋川市環境総務課主催, 鯉坂誠之及び研究室ゼミ生, 2024 年(夏季, 冬季) ・地域連携：「キラッと！かどま 2024」市内統一清掃, 門真市環境政策課主催, 鯉坂誠之, 中津壮人及び研究室ゼミ生, 2024 年 <p>◆学協会等の委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会, 人間環境学会, 日本日本認知症ケア学会, 日本重症心身障害学会, 日本小児保健協会, 日本小児精神神経学会, 日本質的心理学会に所属 <p>◆特記すべき社会貢献の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府藤井寺市「環境保全審議会」会長, 2024 年 ・大阪府門真市「建築審査会」委員, 2024 年 ・大阪府寝屋川市「環境保全審議会」副会長, 2024 年 ・大阪府和泉市(大阪府都市整備部)「榎尾こもれびの森活動」委員, 2024 年
-------------	--

<記入上の注意>

教育：該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究：該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献：該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	プロダクトデザインコース
職階	氏名
教授	鯨坂誠之

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和5年度担当科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報 2(2D)、プロダクトデザイン概論(2D)、建築計画(3C)、建築造形実習(3C)、基礎研究(4C)、住環境設計演習(5C)、卒業研究(5C)、ユニバーサルデザイン(専攻科2年) <p>◆担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Classroomの活用、3Dスキャナー・3Dレーザー加工機・3Dプリンターの積極的導入、すべての授業におけるオンデマンド動画の作成等を通じて欠席時のフォローアップだけでなく平常時も自学自習に役立つ工夫を行った。 <p>◆特記すべき教育方法の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングによる双方向授業を展開している。また、「建築デザイン製図」(共著, 学芸出版社)を活用するとともに、建築設計製図に「ルーブリック評価」を取り入れることで学生自身の学習意欲の促進を図っている。実験実習においては、模型製作と3D-CADを併用することで手作業とDXの融合を実践した。
研 究	<p>◆競争的資金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費:基盤研究(C), 代表・鯨坂誠之, 「発達障害の特性のある学生のための高専版実験実習支援プログラムの開発」, 2021年4月~2025年3月 <p>◆論文発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伏見裕子, 鯨坂誠之, 金田忠裕, 高橋舞, 中田裕一:「高専人権シンポジウム」の実施に関する報告, 大阪公立大学工業高等専門学校研究紀要, 第57巻, pp.21-26, 2024.1 ・早川潔, 松永博昭, 谷野圭亮, 鯨坂誠之, 北野健一:2022年度ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ開催報告, 大阪公立大学工業高等専門学校研究紀要, 第57巻, pp.43-46, 2024.1 <p>◆国際会議発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Shigeyuki Ajisaka, Tomomi Ikeda: Research on improving facility environment for children requiring medical care based on staff's indications, The 18th Congress of Asian Society for Pediatric Research / ASPR, (Virtual Congress) 2023.11 <p>◆学術講演会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鯨坂誠之, 池田友美, 古川恵美:発達特性に基づく類型とメンタル不調の関係

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

	<p>性に関する一考察, 日本小児心身医学会抄録集, 第 21 回関西地方会(P-2), p.31, 2024.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川恵美, 池田友美, 鯉坂誠之, 中村恵, 福地成, 石崎優子:特別養子縁組の子どもの生き立ちを家族と共に受け止めていくペアレント・トレーニングの実践, 日本小児精神神経学会学術集会, 第 130 回(G-2), p.81, 2023.11 ・池田友美, 鯉坂誠之, 古川恵美:特別養子縁組で親・家族になった経験, 一事例の振り返り, 日本小児精神神経学会学術集会, 第 130 回(G-1), p.80, 2023.11 ・鯉坂誠之, 池田友美, 古川恵美:発達障害の親の会に対するペアレント・トレーニングの効果, 日本質的心理学会抄録集, 第 20 回(P-46), 2023.11 ・渡邊涼平, 鯉坂誠之:学習スタイルの差異とロッカールームの使いやすさの関係性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5109), pp.237-238, 2023.9 ・鯉坂誠之, 高橋舞, 中田裕一, 池田友美:発達特性の傾向と講義科目・実験実習科目における困りごと, 日本高専学会年会講演会講演論文集, 第 29 回, B1-5, 2023.8
<p>社会貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆公開講座・出前授業の取組状況 ・研修会:ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ, 2023 年, 北野健一(コーディネーター), 鯉坂誠之(メンター)他 ・地域連携:環境リーダー養成講座, 寝屋川市環境総務課主催, 鯉坂誠之及び研究室ゼミ生, 2023 年 ・地域連携:「キラッと!かどま 2023」市内統一清掃, 門真市環境政策課主催, 鯉坂誠之, 中津壮人及び研究室ゼミ生, 2023 年 ◆学協会等の委員 ・日本建築学会, 人間環境学会, 日本日本認知症ケア学会, 日本重症心身障害学会, 日本小児保健協会, 日本小児精神神経学会, 日本質的心理学会に所属 ◆特記すべき社会貢献の内容 ・大阪府藤井寺市「環境保全審議会」会長, 2023 年 ・大阪府門真市「建築審査会」委員, 2023 年 ・大阪府寝屋川市「環境保全審議会」副会長, 2023 年 ・大阪府和泉市(大阪府都市整備部)「榎尾こもれびの森活動」委員, 2023 年

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載.

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	プロダクトデザインコース
職階	氏名
教授	鯨坂誠之

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和4年度担当科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合工学実験実習Ⅱ(2年)、建築計画(3C)、建築造形実習(3C)、建築史Ⅰ(4C)、基礎研究(4C)、住環境設計演習(5C)、卒業研究(5C)、ユニバーサルデザイン(専攻科2年) <p>◆担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX 推進のため、すべての授業でオンデマンド動画を作成した。欠席時のフォローアップだけでなく平常時も自学自習に役立つ使用を前提とした。 <p>◆特記すべき教育方法の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「建築デザイン製図」(共著, 学芸出版社)を活用するとともに、建築設計製図に「ルーブリック評価」を取り入れることで学生自身の学習意欲の促進を図っている。今年度から模型製作と3D-CADを併用することで手作業とDXの融合を実践した。
研 究	<p>◆競争的資金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費:基盤研究(C), 代表・鯨坂誠之, 「発達障害の特性のある学生のための高専版実験実習支援プログラムの開発」, 2021年4月~2025年3月 <p>◆論文発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Yuko Ishizaki, Emi Furukawa, <u>Shigeyuki Ajisaka</u>, et al.: Perspectives of support system for foster and adopted children and their parents by pediatricians in Japan, International Journal of Child and Adolescent Health 15(1) 3-7 2022.4 ・土井智晴, 井上千鶴子, <u>鯨坂誠之</u>他:2021年度ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ開催報告, 大阪公立大学工業高等専門学校研究紀要, 第56巻, pp.17-22, 2023.1 <p>◆国際会議発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tomomi Ikeda, Hideyoshi Odawara, <u>Shigeyuki Ajisaka</u>, et al.: Development of A Method for Evaluating Emotional Responses by Skin Temperature, The 9th Congress of the European Academy of Pediatrics Societies / EAPS, 2022.8 <p>◆学術講演会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川恵美, 石崎優子, 池田友美, <u>鯨坂誠之</u>他:発達障害のある子どもの養親

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

	<p>を対象としたペアレント・トレーニングの開発, 日本子ども虐待防止学会プログラム集, 第 28 回学術集会ふくおか大会, (P-42), 2022.12</p> <p>・<u>鯨坂誠之</u>, 中田裕一, 高橋舞, 池田友美:発達特性の傾向と学校生活における困りごとの有無の関係性, 日本高専学会年会講演会講演論文集, 第 28 回, (B1-1), 2022.9</p> <p>・高橋舞, 伏見裕子, <u>鯨坂誠之</u>, 中田裕一, 金田忠裕:養護教諭による人権・セクシュアリティ教育, ー大阪公立大学高専での取り組みー, 日本高専学会年会講演会講演論文集, 第 28 回, (B2-4), 2022.9</p> <p>・山下将輝, 小田原英義, <u>鯨坂誠之</u>:医療的ケアの必要な子どもの施設における見守りやすさと動線計画, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5110), pp.219-220, 2022.9</p>
<p>社会貢献</p>	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況</p> <p>・研修会:ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ, 2022 年, 北野健一(コーディネーター), <u>鯨坂誠之</u>(メンター)他</p> <p>・地域連携:環境リーダー養成講座, 寝屋川市環境総務課主催, <u>鯨坂誠之</u>及び研究室ゼミ生, 2022 年</p> <p>・地域連携:「キラッと!かどま 2022」市内統一清掃, 門真市環境政策課主催, <u>鯨坂誠之</u>, 中津壮人及び研究室ゼミ生, 2022 年</p> <p>◆学協会等の委員</p> <p>・日本建築学会, 人間環境学会, 日本日本認知症ケア学会, 日本重症心身障害学会, 日本小児保健協会, 日本小児精神神経学会, 日本質的心理学会に所属</p> <p>◆特記すべき社会貢献の内容</p> <p>・大阪府寝屋川市「環境保全審議会」副会長, 2022 年</p> <p>・大阪府和泉市(大阪府都市整備部)「榎尾こもれびの森活動」委員, 2022 年</p>

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載.

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載